

## 2020年は 戦後75周年

今年(2020年)は1945(昭和20)年の第二次世界大戦・太平洋戦争の終結から75年の節目の年となります。

戦争は、「資源確保」「宗教対立」などいろいろな理由から起こり、武力により争われるため、互いに甚大な犠牲が伴います。

世界各地では今なお紛争が起きており、兵士だけでなく武器を持たない一般市民も巻き込まれ、たくさんの尊い命が奪われています。

戦争は最大の  
人権侵害

日本は、このような恐ろしく悲惨な戦争を二度と繰り返さないことを日本国憲法の中に明文化しています。戦争をしないと誓い75年。しかし“まだ75年”です。平和な世の中を築いていくために、戦争を体験していない私たちは、伝え聞いた戦争の悲劇と恐ろしさを次の世代に伝えていかなければなりません。『戦争は最大の人権侵害』であることを。

## 中高生が取り組んでいる平和・人権学習

【目的】戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、人権感覚を養うとともに、学習した成果を広く啓発し、「学び・考え・行動できる」人材を育成することを目的としています。

【主な事業・学習内容】

◆広島平和行動／平和行動「ダイ・イン」「ピースメッセージ」  
フィールドワーク「平和記念資料館」等

◆長崎平和学習の旅／青少年ピースフォーラム参加  
平和祈念式典参列、フィールドワーク 等

◆沖縄人権文化体験研修／フィールドワーク「沖縄戦跡」  
「米軍基地」「ハンセン病療養所」等

♥事前・事後学習および現地で学んだことを多くの方と共有するため、報告・啓発活動をしています。

<広島・長崎・沖縄合同報告会／人権ふれあいセンター文化祭 等>

【折り鶴に願いを込めて】

平和事業に参加する際には、平和学習の参加者だけでなく多くの方の願いも込めて千羽鶴を届けています。千羽鶴は、広島への原子爆弾投下により2歳で被爆し、10年後に白血病で亡くなられた佐々木禎子(ささきさだこ)さんが「鶴を千羽折れば、きっと私の病気は治る」と祈って折り続けたというエピソードが広く知られています。

令和元年12月に開催された多文化共生フェスタでは、市内で人権学習に参加している小学生～高校生も参加し、外国籍の方に折り鶴の折り方を教えるなど交流しました。



【遺族会研修会で活動報告】



【広島平和行動 原爆の子の像前】

## 自分にできることから

今の世界は平和なのか？ 今の日本は平和なのか？

幸せに生きる権利(人権)は守られているのか？

あなたにとっての「平和」とは何なのかを考え、それを実現するために自分に何ができるか、今一度考えてみてください。

令和元年度  
平和学習参加生  
～平和宣言文より～  
たすき  
『記憶の櫂を  
未来へ繋ぐ』

# ～ インターネットと人権 ～

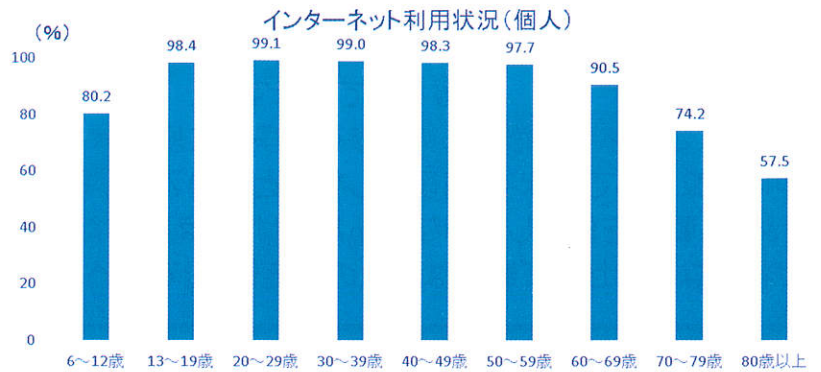
インターネットは、情報の収集や発信、さまざまな人と交流ができるなど、私たちの生活においてとても便利なものとなっています。

ひぼうちゆうしょう

しかし、匿名で簡単に発信できることから他人を誹謗中傷したり、差別を助長する表現、また個人情報などプライバシーを侵害する情報や個人・団体にとって有害な情報の掲載・拡散など、人権を侵害する行為が後を絶ちません。

また、子どもが保護者の目の届かないところで犯罪被害等のネットトラブルにあう事例も増えています。

13歳から69歳の年齢層でインターネットの利用が9割を超えています。

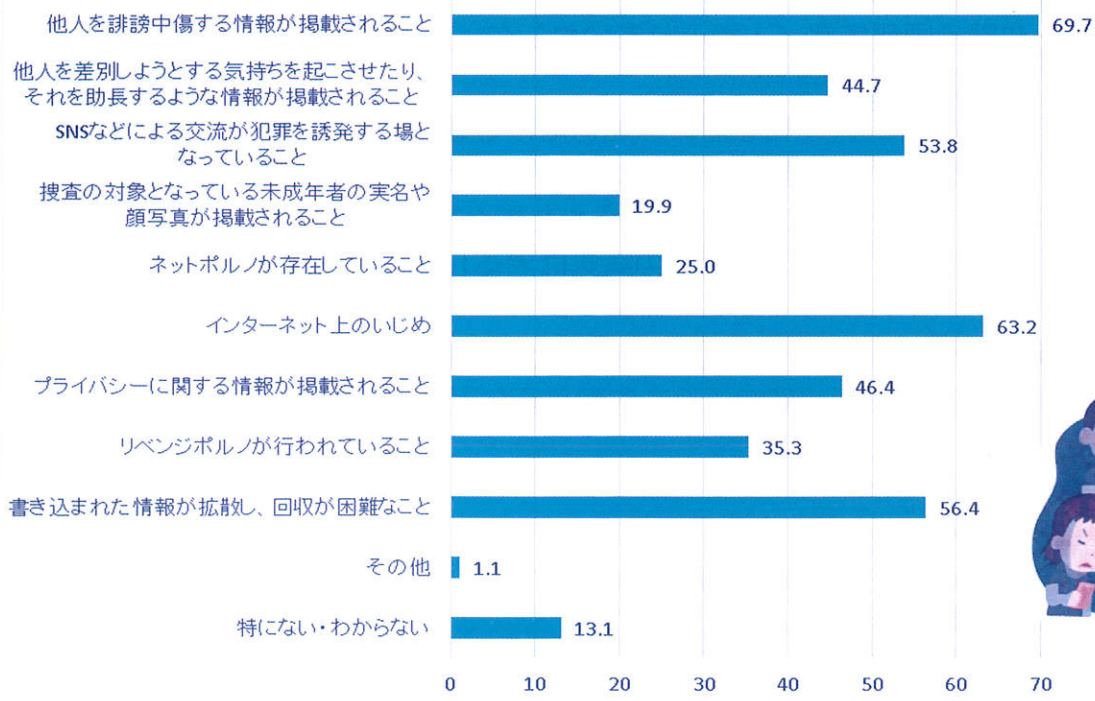


出典:総務省「令和元年通信利用動向調査」

インターネットは、使い方を間違えると相手を傷つけたり、思わぬトラブルに巻き込まれたりすることになりかねません。自分を守り、相手を傷つけないためにも、正しい利用を心がけ、書き込みを行う場合は、相手を傷つけないか確認をしましょう。

また、インターネットには間違った情報もあふれています。ひとつの情報をうのみにせず、さまざまなところから情報を得て、何が正しいのかという人権を守る視点をもって考えることが大切です。

## インターネットによる人権侵害に関し、現在どのような問題が起きていると思いますか。



令和元年度 福知山市「人権問題に関する意識調査」

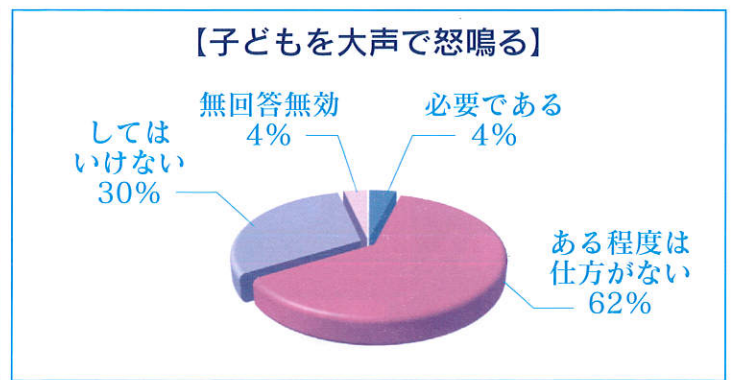
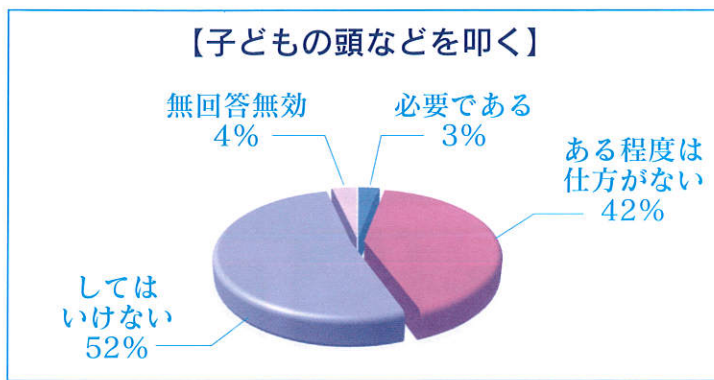
# 子どもの権利が守られる 体罰のない社会へ



～ 2020年4月より法律が変わりました～

2019(令和元)年6月「児童福祉法」等の改正により、親権者が子どものしつけに際して体罰を加えてはならないことが規定され、2020(令和2)年4月から施行されています。たとえ「しつけのため」と親が思っても、体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快感を意図的にもたらす行為(罰)である場合は、体罰に該当します。

福知山市が2019(令和元)年8月に実施した「福知山市人権問題に関する意識調査」では、子どものしつけについての考え方として「頭などを叩く」、「大声で怒鳴ったりする」の2点について質問しています。



(満18歳以上の福知山市民男女各800人ずつ無作為抽出 回収率31.4%)

前回の調査(平成26年)と比べると「頭などを叩いてはいけない(48%)」「大声で怒鳴ってはいけない(25%)」の数値は増えてはいるものの、依然として肯定する意見も多いという結果となっています。

## 体罰がいけない理由

### ★体罰は恐怖による支配にすぎません

痛みや苦しみを利用して子どもの言動をコントロールしているだけです。子どもは怖いから一時的に言うことをきいているのです。自分で考えて行動しているわけではありません。

### ★体罰は子どもの成長・発達に悪影響を与えます

感情をうまく表現できない、落ち着いて話が聞けない、我慢ができない等の行動障害のリスクが高まります。

### ★体罰の悪循環に陥ります

親による体罰行為は、子どもが暴力を学ぶモデルにもなり得ます。

すべての子どもは、健やかに成長・発達することが権利として保障されており、体罰は子どもの権利を侵害します。社会全体で子育て家庭を支援しながら、体罰のない社会を実現していきましょう。

# 上豊富小学校の 人権教育

— 学校教育目標 めざす児童像 —

**す**すんで学びきとえる子  
**な**がよくつながり合える子  
**み**んなのために行動できる子



- 地域との関わり  
烏帽子ヶ岳講座
- 地域見守り
- あいさつ運動
- 地域行事への参加



- 異年齢集団活動  
清掃活動・人権集会
- 人権看板作り
- EKT(エンジョイカミトヨタイム)  
学校・学級・班遊び

ながよく  
つながる



自分も 友達も 周りも  
に に に

みんなの  
ために

すんで  
学ぶ



- 授業研究
- かみとよスピーチ
- 読書活動の充実、読み聞かせ
- 主体的・能動的に学び合う活動
- 3Sウィーク  
(成和ブロックの取組)



# 川口中学校の人権教育

## 学校教育目標

自ら学び 心豊かな 夢に挑戦する生徒の育成

## 人権教育目標

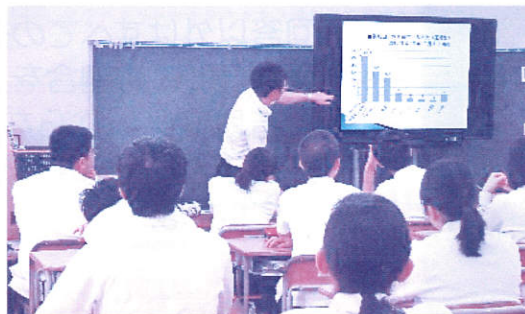
- 個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現を目指し、生徒の人権意識を向上させる。
- 生徒の実態を的確に把握して教育の機会均等を図り、基礎学力の定着と希望進路の実現に努める。
- 様々な人権問題についての正しい理解や認識を培い、問題解決のために行動できる技能や能力を育てる。

### 〈人権意識の向上を目指して〉

- 全校人権学習・人権講演会
- 前期人権学習・後期人権学習
  - ・身近な差別について考え、差別を見抜き、差別を許さない行動力を身につける。
  - ・人権尊重の歴史を学習し、自身の生き方と重ね合わせて考える。
- 教職員研修

### 〈基礎学力の定着と希望進路の実現を目指して〉

- 主体的・対話的で深い学びの学習
- マイ学(自主学習)ノートの充実
- チャレンジ学習(中1・中2)
- 地域未来塾(中3)
- 学習相談、進路相談の充実



### 〈学校・家庭・地域とのつながり〉

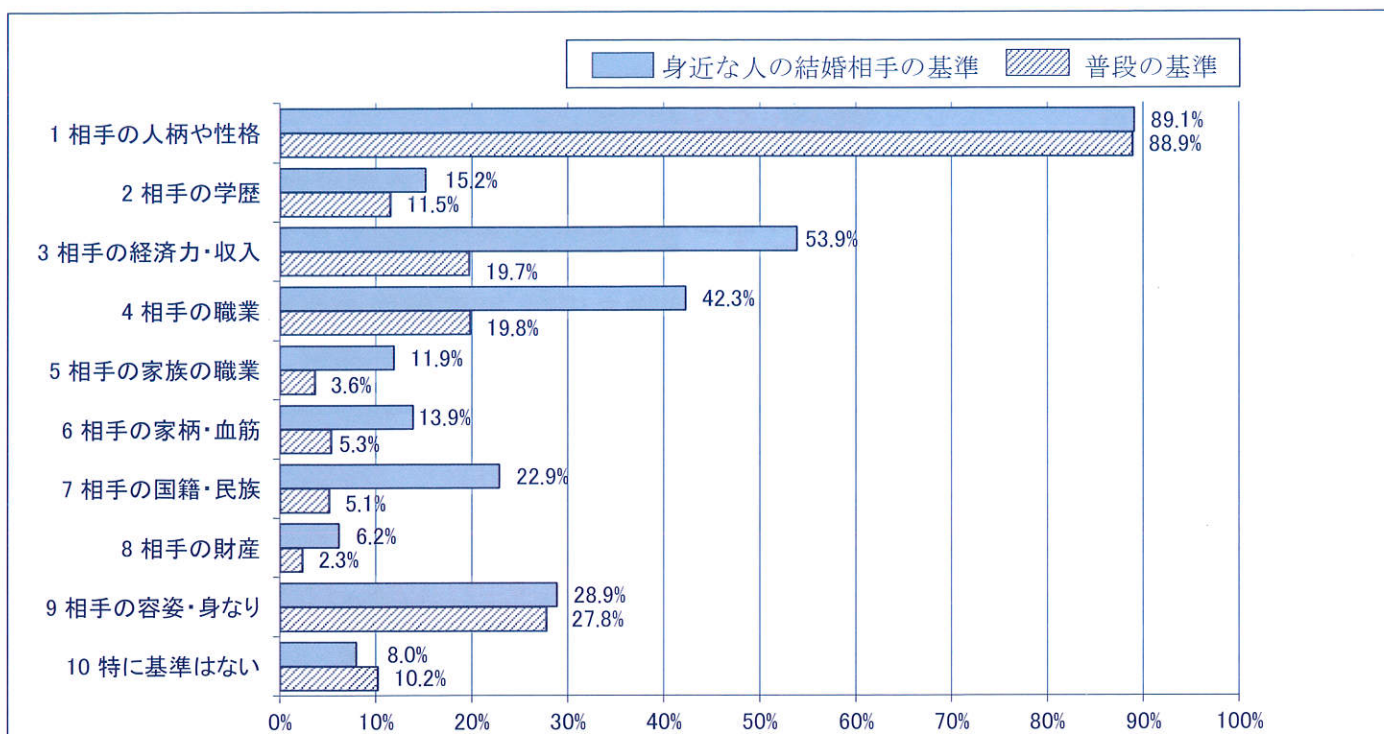
- 校区内小学校との人権学習の研究交流
- PTA人権研修
- いい日あいさつデー
- 川口地域教育協議会との連携  
「みんなの登校日」の開催
- 地域懇談会の開催



# 人権問題に関する意識調査の結果から

下のグラフは、昨年、市民を対象に実施した「人権問題に関する意識調査」で、「人を評価する場合の基準」について、“普段”の評価基準と“身近な人の結婚という場面”での評価基準を比較したものです。

## ◆他人に対する評価の基準・価値観◆



※10の回答選択肢から、あてはまるものすべてについて回答

※昨年8月に18歳以上の市民から男性1,600人、女性1,600人の計3,200人を無作為に抽出し実施しました。



## ◆場面によって評価への関心が高まる!

全体をしてみると、「10 特に基準はない」という回答以外はすべての基準で“身近な人の結婚”の場面が“普段”の割合を上回っています。

普段は気にならないことが、場面によって関心が高まり、いろいろと気になる様子がグラフから見て取れます。

## ◆大きな差が出ない基準

ほとんどの人が、普段気にならないことが、状況によって関心が高まることがわかりましたが、評価の基準(≡気になること)の変化の大きさは、項目によって大きく異なります。

「相手の人柄や性格」は、どちらもほとんど同じ割合で、ほかの基準に対して突出して高い割合になっています。

また「相手の容姿・身なり」もほぼ同じ割合です。

## ◆差が出る基準の二つのパターン

次の項目は、変化の大きさに差異があります。

①評価の基準とする(≒気にする)人が2倍以上に増え、多くの人が基準とする項目は

- ・「相手の経済力・収入」で(約2.7倍に増加、半数以上の人)
- ・「相手の職業」(約2.1倍に増加、4割以上の人)となっています。

②評価の基準とする(≒気にする)人は多数ではないが、変化が大きい基準  
普段はおよそ20人に1人しか基準にしていない(≒気にならない)

- ・「相手の国籍・民族」は、約4.5倍に増え、5人に1人は基準とする(≒気になる)と答えています。
- ・「相手の家族の職業」は、約3.3倍に「相手の家柄・血筋」は、約2.6倍に増えています。



①は、生活の基盤となる要素が強く、結婚の場面では重要な基準になるといえますが、②は、最大の評価基準である相手の人柄や性格と全く関係のない要素で、人柄や性格の評価をゆがめてしまうものです。

人柄や努力などとは無関係な評価基準でその人を判断することは、それを理由に避けたり、排除するなどの差別につながる恐れがあります。

一人ひとりが人権について正しく理解し、差別をなくしていきましょう。

## 人権と平和に関する 標語の募集

- 作品内容：人権と平和に関するもの。
- 規格：応募様式は自由。  
作品には住所・氏名を記入してください。  
標語は1人3点以内。
- 応募期限：令和2年9月30日(水)まで
- 応募：本誌の印刷ハガキ(右紙)をお使いください。
- その他：応募者への記念品はありません。

- ★ 愛されて 育つ優しさ 思いやり
- ★ 言えますか? 子どもの前で その言葉
- ★ スマホより 目を見て伝える その気持ち
- ★ 「はんぶんこ」分けると増える 笑顔の輪
- ★ 広げよう あなたの優しい 心の手

(令和元年度保護者作品より)

本誌発紙「That's Right!第27号」を読んでみて、感じた感想・ご意見をお聞かせください。また、標語応募や人権について感じられることがあれば、ご記入ください。



ご意見・ご感想・標語など

---

---

---

---

---

---

---

---

ありがとうございました。よろしければ、情報をお聞かせください。

〒

✂  
ご住所

---

---

---

---

お名前

いただいた情報は、福知山市個人情報保護条例に基づき、適切に処理します。

# ユニバーサルデザインについて

ユニバーサルデザイン(*Universal Design*)とは、  
年齢や性別、文化、障害の有無などの違いにかかわらず、  
さまざまな人にとってわかりやすく使いやすい設計・構造のことです。

## 身近なユニバーサルデザイン

### ★羽根のない扇風機

回転する羽根がないため怪我の危険が少なく、手入れも簡単に行えます。



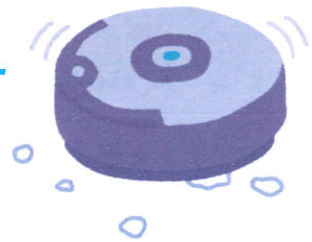
### ★多目的トイレ

手すりやベビーチェアなどを備え、幅広い人にとって使いやすい設計となっています。



### ★ロボット掃除機

ボタンを押すだけで自動的に掃除を行い、時間と労力の節約にもなります。



63円切手  
をお貼り  
ください

6 2 0 0 0 3 5

福知山市字内記100  
福知山市役所内

福知山市地域振興部人権推進室 行

ユニバーサルデザインは、バリアフリーの考え方をもとにして1980年代にアメリカで提唱されました。ただしバリアフリーとは異なり、対象を障害のある人に限定しているわけではありません。

また、施設や設備の充実だけでなく、相手の立場を理解し思いやる心である「ユニバーサルマナー」も大切です。一人ひとりがユニバーサルマナーを意識して行動することが、よりよい社会をつくるきっかけになります。

多様な人々がそれぞれの能力を発揮できるまちづくりのために、引き続き啓発を進めていきます。あなたの優しい心づかいで、優しい社会にしていきましょう。